

2026 年 8 月 26 日

パナソニック、DR 対応冷蔵庫と東京電力エナジーパートナー「エコ・省エネチャレンジ」の連携を開始

再生可能エネルギー活用と電力需給の安定化に貢献



パナソニック株式会社（以下、パナソニック）は、東京電力エナジーパートナー株式会社（以下、東京電力 EP）が提供する家庭向けデマンドレスポンス（以下、DR）サービス「エコ・省エネチャレンジ」と、DR 機能を搭載したパナソニック製冷蔵庫との連携を、2026 年 10 月 1 日より開始します。

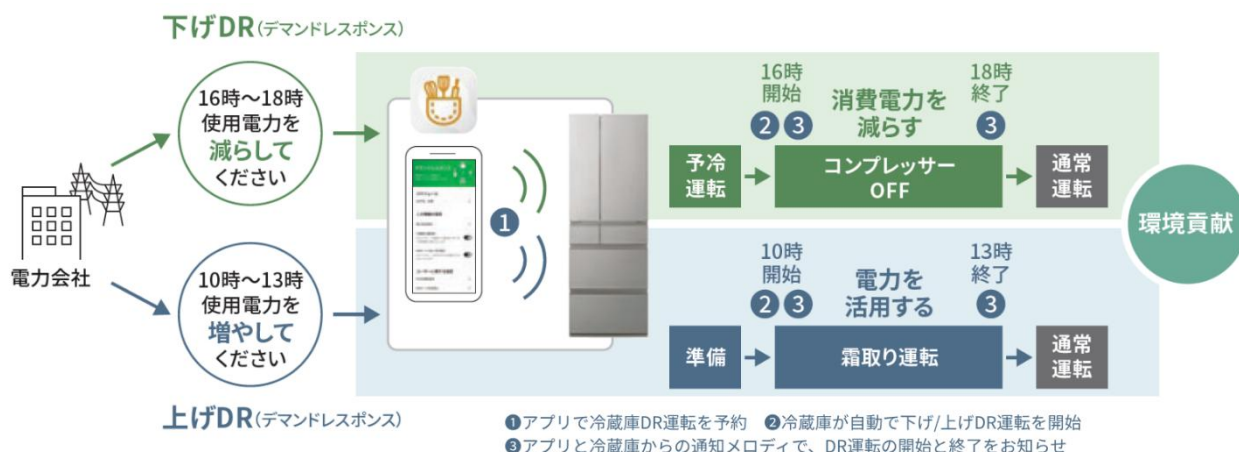
近年、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー（以下、再エネ）の導入拡大に伴い、発電量が需要を上回る時間帯が発生しています。需給バランスの乱れによる大規模停電を防ぐため、全国で再エネの出力制御が実施されており、2026 年 3 月には首都圏でも初めて出力制御が行われるなど、電力需給の調整が課題となっています^{※1}。また、国際情勢の不確実性の高まりを背景に、エネルギーの安定供給と効率的な電力利用の重要性も一層高まっています。こうしたなか、電力需要を抑制する「下げ DR」に加え、余剰となる再エネ電力を有効活用する「上げ DR」への期待も高まっています^{※2}。

本連携では、東京電力 EP からの DR 要請に応じて、パナソニック製冷蔵庫が自動で運転を最適化します。余剰電力が生じる時間帯には、通常は夜間などに実施する霜取り運転を要請時間帯へシフトし、電力を有効活用します。一方、需給がひっ迫する時間帯には、事前に庫内を冷却し、コンプレッサーの運転を抑制することで消費電力を低減します。お客様による特別な操作は不要で、日常生活や食品保存への影響を抑えながら、自動で電力需給の調整に貢献できます。

パナソニックは、家電の提供にとどまらず、エネルギー社会の変化に対応した新たな価値創出に取り組んでいます。今後も電気事業者との連携を通じて、持続可能なエネルギー社会の実現に貢献していきます。

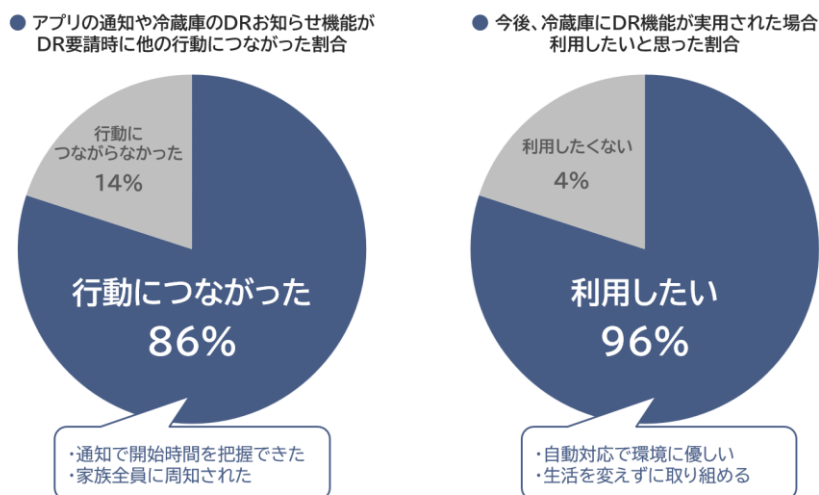
■冷蔵庫が賢く電気を使う「DR モード」

東京電力 EP の DR サービス「エコ・省エネチャレンジ」の DR 要請に基づき、パナソニックのクラウドサーバーから冷蔵庫へ DR 運転信号を送信します。信号を受信した冷蔵庫は、要請内容に応じた準備運転を行い、食品の保存性能や使い勝手への影響を抑えながら、要請時間帯に DR 自動運転を実施します。DR 運転の開始時と終了時には、アプリでのお知らせに加えて、「DR お知らせ機能」により冷蔵庫がメロディで通知します。



■実証結果

DR 連携の開始に先立ち実施した共同実証では、参加者の 86%が、アプリ通知や冷蔵庫の DR お知らせ機能をきっかけに、「他の DR 行動につながった」と回答。エアコンや照明など家庭全体での DR 行動を促進する効果が確認されました。また、冷蔵庫が自動で DR 要請に対応するため、お客様が無理なく継続的に取り組めることから、参加者の 96%が「今後も利用したい」と回答し、本サービスの有用性と受容性が確認されています。



■ポイント進呈

お客様は、東京電力 EP の「エコ・省エネチャレンジ」に参加いただくことで、冷蔵庫の設定変更等を都度行うことなく DR へ参加でき、家庭全体の節電量または負荷創出量に応じたポイントを獲得することができます。

- ※1 [再生可能エネルギー出力制御の長期見通し等について\(資源エネルギー庁\)](#)
- ※2 [昼の再エネ余剰電力需要創出モデル実証\(令和7年度\)\(環境省\)](#)

<お客様からのお問い合わせ先>

パナソニック株式会社 冷蔵庫ご相談窓口 TEL:0120-878-693

〔お問合せ受付時間:9:00-18:00 月～土曜日(祝日・正月三が日を除く)〕

<報道関係者からのお問い合わせ先>

パナソニック株式会社 広報部: pchq_prstaff@ml.jp.panasonic.com

以上